

2020年6月5日
(2020年7月31日更新)
(2020年9月17日更新)
(2022年10月25日更新)

教育研究活動に際してのお願い（教職員用）

教職員 各位

新型コロナウイルス感染症対策本部長
奈良女子大学長 今岡 春樹

授業及び研究室の運営において、以下の注意点及び対応基準を参考にいただき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためにご協力ください。

1. 授業時の注意点

- ①授業時は適切な換気を行う。（換気扇を適切に使用し、冷暖房時は熱交換換気を使用する。窓の開放による換気を行う場合は、常時、窓と反対側の扉の両方を5～10cm程度開けておく）。
- ②可能な限り隣・前後の席を1つ以上空けて着席するよう指示をする。
- ③教室等の入口ドアは適宜開放し外気を導入する（音声などのボリュームに注意する）。
- ④授業中も適切にマスクを着用し、学生との距離を2m以上空けて講義を行う。
- ⑤学生に発表させるときは、他の学生と距離を保たせる（前に出させるなど）。
- ⑥ディスカッションが必要な授業では、「密接発声」状況を低減するため、2m以上の距離を保って発話するなどの工夫をする。
- ⑦学生に対して、各教室に設置しているアルコール消毒液の使用を促す。
- ⑧対面授業の前後で遠隔授業がある学生への配慮として、時間に余裕を持った授業を行う。

2. 研究活動時の注意点

研究室・実験室等の運営にあたっては、下記の対応基準を参考に室内での学生間のスペースを確保していただき、感染拡大防止への最大限の配慮をお願いします。また、研究を行うにあたって学生が不安を感じていないかをよく確認し、十分な配慮を行っていただくよう併せてお願いします。

対応基準

研究室・実験室等では対面を避けて、できるだけ2m（最低でも1m）の間隔を確保して着席する。スペースがない場合は、シフト制などで席の間隔を空ける。対面での作業が必要な際、1m以上の間隔を確保できない場合はパーテーション等の設置を行う、或いはマスクの着用と併せ、換気を十分に行う。

また、対応基準に沿った室内のスペースの確保と併せて、以下の感染予防対策を講じてください。

感染予防対策

①室内での「3つの密」を避ける配慮を行う。

- 1) 研究室等での活動時は常に換気扇を作動し、必要に応じて入口ドアを適宜開放し換気する。
- 2) 室内に滞在する人数を抑制する。
- 3) 室内で同時に複数人が滞在する場合は、人との距離（目安2m）が確保でき、会話をほとんど行わない場合を除き、マスクを着用し、必要に応じて手袋・フェイスシールドを着用するとともに、アクリル板の設置等による遮蔽措置を行う、或いはマスクの着用と併せ、換気を十分に行う。

②ドアノブやテーブル、端末画面、スイッチなど、複数の者の手が触れる場所は必要に応じて消毒する。PCのキーボードやマウスは使用前後に消毒する。

問合せ先

○授業に関すること

学務課学務係

TEL : 0742-20-3368

E-mail : gakumukakari[at]jimu.nara-wu.ac.jp

学務課文学部係

TEL : 0742-20-3699

E-mail : bun[at]jimu.nara-wu.ac.jp

学務課理学部係

TEL : 0742-20-3428

E-mail : ri.jimu[at]cc.nara-wu.ac.jp

学務課生活環境学部係

TEL : 0742-20-3065

E-mail : seikan-jimu[at]cc.nara-wu.ac.jp

学務課工学部係

TEL : 0742-20-3581

E-mail : kougaku[at]cc.nara-wu.ac.jp

学務課大学院係

TEL : 0742-20-3208

E-mail : daigakuin[at]jimu.nara-wu.ac.jp

○新型コロナウイルス対応全般に関すること

総務課総務係

TEL : 0742-20-3204

E-mail : somusomu[at]jimu.nara-wu.ac.jp